

教生学第 343 号  
平成 29 年 7 月 20 日

各 教 育 局 長  
各 道 立 学 校 長 様  
各市町村教育委員会教育長  
(各市町村立学校長)

北海道教育庁学校教育局参事 (生徒指導・学校安全) 川 端 雄 一

ヒアリに関する対応について (通知)

このことについて、北海道環境生活部環境局生物多様性保全課長から別添写しのとおり依頼がありましたので通知します。

ついでには、ヒアリと思われる怪しいアリに関する情報等が寄せられた場合には、北海道環境生活部環境局生物多様性保全課生物多様性戦略グループ (011-204-5987) へ連絡願います。

また、ヒアリの確認状況、見分け方、防除手法、刺された場合の対応及び生態等については、別添写しに示された環境省等の WEB サイトを参照願います。

(生徒指導・学校安全グループ)



生物第536号  
平成29年7月14日

総務部危機対策局危機対策課長  
総合政策部交通政策局物流港湾室長  
総合政策部航空局航空課長  
保健福祉部健康安全局地域保健課長  
保健福祉部健康安全局食品衛生課長  
教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）

様

環境生活部環境局生物多様性保全課長

ヒアリに関する対応について（依頼）

このことについて、既に関係部局におかれましては、対応を進めているところとは思いますが、別添のとおり環境省自然環境局野生生物課から特定外来生物「ヒアリ」に係る対応について、依頼がありましたので、お知らせします。

つきましては、ヒアリと思われる怪しいアリが発見された旨、一般道民や市町村等から問い合わせがあった場合には、当課にご連絡ください。

また、ヒアリの確認状況、見分け方、防除手法、刺された場合の対応及び生態等については、次のWEBサイトを参照してください。

記

- 1 環境省のWEBサイト  
<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>
- 2 道のWEBサイト  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/hiari01.htm>
- 3 添付資料
  - (1) 平成29年7月13日付け事務連絡（環境省自然環境局野生生物課）
  - (2) ヒアリの簡易的な見分け方（暫定版）
  - (3) 在来種「エゾアカヤマアリ」と外来種「ヒアリ」の違いについて

（ 生物多様性戦略グループ  
・ 担当：石野  
連絡先：6-210-24-387 ）

事 務 連 絡  
平成 29 年 7 月 13 日

各都道府県環境主管部局 御中

環境省自然環境局野生生物課

### ヒアリに関する対応について（依頼）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づき特定外来生物に指定されているヒアリについては、6月に兵庫県尼崎市で確認されて以降、現在までに兵庫県神戸市、愛知県弥富市、大阪府大阪市、東京都品川区、愛知県飛島村、愛知県春日井市で相次いで確認されており、我が国への侵入及び定着が懸念される状況となっております。

つきましては、ヒアリの侵入及び定着の防止等のため、下記についてご協力願います。なお、ヒアリの確認状況、見分け方、防除手法、刺された場合の対応及び生態等については、WEBサイトをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

### 記

1. 事業者及び地域住民等からヒアリと疑われる事例の通報があった場合には、貴部局において可能な限り簡易的な同定を実施し、疑わしい事例は速やかに各地方環境事務所等に通報するとともに殺虫処分を行う等により早期発見、早期防除を行うこと。
2. 港湾部局、空港部局、消防防災部局、衛生部局、教育部局等の関連する部局、市町村、港湾及び輸入コンテナ貨物を利用する事業者をはじめとする関係者等に対し、ヒアリの確認状況、見分け方、防除手法、刺された場合の対応及び生態等に関する適切な情報を周知するとともに、連携体制の確保に努めること。

担 当 環境省自然環境局野生生物課 外来生物対策室 八元、三宅、知識 電 話:(03)5521-8344(直通) ファックス:(03)3581-7090
--

## ヒアリの簡易的な見分け方（暫定版）

2017.7. 環境省外来生物対策室

※ 今後必要に応じて更新していきます。

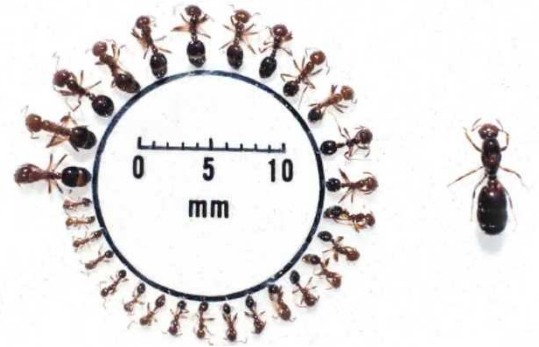
ヒアリかどうかは、専門家が顕微鏡を使って観察しなければ、判断できませんが、ヒアリの疑いの有無は、下記の要領でおおよそわかります。

### 肉眼で

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部の色は暗め
- ・ 働きアリの大きさが2.5mm-6.5mmと連続的な変異がある
- ・ 行列を作り餌に集まる

### ヒアリでないもの

- ・ 黒いアリ（ただし海外には黒いヒアリ類もいます）
- ・ 2.5mm以下の小さいアリ
- ・ 赤っぽいアリでも大きさに連続的な変異のないもの



S.D. Porter, USDA-ARS

### 顕微鏡で

頭楯前縁中央に小突起  
（口もとにでっぱり）  
アカカミアリは頭楯前縁中央に  
小突起はない。他の特徴は同じ。



触角は10節  
先端の2つが大きい



腹柄が2節  
（背中に2つのコブ）



あくまで簡易なものです。  
正確な同定は専門機関に  
お願いすることとなります。

在来種「エゾアカヤマアリ」と外来種「ヒアリ」の違いについて

道内の各地に生息する在来種の「エゾアカヤマアリ」と、最近問題となっている特定外来生物の「ヒアリ」がよく似ているため誤認するケースがあり、関係するお問い合わせが増えてきたことから、簡単な見分け方を次のとおり整理しましたので、参考にしてください。

特徴	エゾアカヤマアリ	ヒアリ
体長 (働きアリ)	7mm前後 (個体の大きさはほぼ同じ)	2.5～6.0mm (様々な大きさの個体がいる)
体色	赤茶色(頭、胸) 黒褐色(尻) <u>頭、胸に光沢なし(ザラザラした感じ)</u> ※ 色には、多少の地域差、個体差があります	飴色(頭、胸) 黒褐色(尻) <u>全身に光沢あり(ツルツとして</u> <u>いる)</u>
触覚の先の形状	<u>先端まで等間隔に短い節が並ぶ</u>	<u>先端はこん棒状の長い節になる</u>
腰のくびれのこぶ	<u>1つ</u>	<u>2つ</u>
巣の形態	木くずや草の茎が混じった円錐状のサラサラした山を積み上げる	土を唾液で固め、ドーム状のがっちりした巣を作る
性質	攻撃的	攻撃的
攻撃方法	アゴで噛んで、尻からギ酸を吹き付ける。	アゴで噛み身体を固定し、尻の毒針を刺して毒液を注入する。

※ ヒアリは、亜熱帯から暖温帯を生息域にしており、寒さには弱いと考えられていますが、夏場は、北海道内でも十分に活動できる気温であることから、注意が必要です。

## エゾアカヤマアリとヒアリの比較

